



# 和光の緑と湧き水だより 会報 Verda198号

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会 代表理事 高橋 048-462-9912

身近な自然を知って守り伝えよう <http://wako-wakimizu.org/>

一緒に自然に親しみ、ボランティア活動をしましょう 随時会員募集中

## 2019年7月、8月の主な予定表 (2019年6月発行)

予定	全体会	新倉ふれあいの森	富澤湧水・大坂ふれあいの森 (地域の会に協力して)
7月	6月26日(木)八廣園による杉の木処理(富澤湧水) 5日(金曜)第4小学校・林間学校のための自然観察授業	2日 七夕用竹切り 20日 保全	13日 富澤湧水調査・保全 9時 17日 大坂ふれあいの森 9時
8月	19日(月曜) 夏ボランティア・樹林公園	17日(土曜) 夏ボランティア新倉	18日 夏ボランティア富澤湧水・保全 21日 夏ボランティア大坂ふれあいの森・保全

### 1. (株)柳下技研 社長 柳下勇様より、当会へ寄付をいただきました

2019年3月に、当会の日ごろの活動・和光市の湧き水や斜面林の保全などにご賛同下さり、会の活動資金として10万円のご寄付いただきました。このご寄付は、和光市長 松本様より市長室で手渡されました。日ごろの当会の活動が、このような形で認められ、大変光栄の至りです。会員一同、改めて、寄付を下さるさった柳下勇社長に感謝申し上げますとともに、和光の湧き水に関して、古くから関心を持っておられたことに深く感謝申し上げます。戴きました貴重な寄付金は、今年度の会の活動に役立たせていただきます。



柳下技研(株)社長柳下勇様(左)



和光市長松本様より寄付金の授与

今年度の主な活動は、今までの調査や保全活動を振り返り、調査データを見直して活用し、ホームページも新たに更新して、活動を広げていこうと思います。皆様、会の活動へのご理解とご参加をどうぞよろしくお願いいたします。

### 2. 小泉武栄先生の「山の自然学講座：和光の白子湧水群見学会」

4月5日と6月21日

「山の自然学」の講座を開いておられる小泉先生主催の現地見学で「和光の白子湧水群見学会」が4月と6月の2回行われ、各回およそ30名の参加者で賑わいました。湧き水の会では、大坂ふれあいの森、富澤湧水、白子の滝、熊野神社など現地をご案内しました。小泉先生は自然地理学、地生態学の専門家です。



大坂ふれあいの森にて 小泉先生



富澤湧水の湧き水に触れて

都市部にありながら湧き水が連なる白子湧水群について、地質と生態系を関連づけて説明されました。4月5日は都内の環境グループ、6月21日は川崎市民アカデミーのグループに和光の自然と町の様子を見学していただきました。

### 3. 第四小学校学区探検 湧水コース 5月16日

授業「和光の自然」 和光市の自然を学ぶ 5月31日

3年生になると身近な学区をみんなで探検する授業があります。第四小校区には白子湧水地が含まれています。湧き水の会では、白子湧水群の大坂ふれあいの森や富澤湧水、熊野神社を案内するのが恒例となっています。緑の草木に囲まれた大坂ふれあいの森は、急斜面に太い根を張ったムクノキがそびえています。富澤湧水には、崖から湧き水が流れ出ていて、湧き水の出る仕組みが分かる地層があります。石垣湧水道には、湧き水が石垣の中を流れています。サワガニを見つけた生徒もいました。熊野神社は、白子宿の鎮守の森で、神社横には白子富士があり、富士講が盛んだったことが解ります。自然と歴史がたくさんつまっていて、学んでほしいことがたくさんあります。生徒たちは目を輝かせて楽しんでいました。大坂ふれあいの森や富澤湧水は、子供たちにとって身近な自然としての特別な場所です。



大坂ふれあいの森の緑に囲まれて

学区探検後の5月30日、高橋勝緒さんが和光の自然について学ぶ授業を行いました。スライドと和光市自然環境マップを活用して、湧き水の仕組みや貴重な植物や生き物についてお話ししました。

### 4. 大坂ふれあいの森の隣接地の開発による湧水環境への影響

大坂ふれあいの森は、東京都に面する和光市の玄関口にあり、和光市の自然の特徴である、武蔵野台地末端部の湧水およびその周辺斜面林の落葉樹林と貴重植物からなる植生が見られる重要なふれあいの森です。白子宿通りから大坂通りに続くいしえの川越街道の中程にあり、市民が身近な自然の環境に触れ、子供達の地域・環境学習に利用度の高い、自然と歴史の両面で重要なところなのです。



池と沼地の環境整備中

2009年に「大坂ふれあいの森」として指定されて以来、地域中心の会「白子大坂ふれあいの森の会」とNPO法人和光・緑と湧き水の会が継続して保全をし、貴重植物の保護育成に勤め、利活用されてきました。

2019年2月に、隣地との境界が明確になり、南側の斜面林下にある池と沼地が含み込まれることが分かり、大坂通り側から流れ込む湧水とともに、湧水が集まる湿地(沼地)として、都市部に残る貴重な環境を保っています。



隣接地の角の住宅も解体

このような、地形、地質、植生の環境を維持する上で、隣接地の宅地化は多大な影響を及ぼすと考えられます。大坂ふれあいの森は本来“緑と湧き水にふれあえる森”です。湧水活用の重要性から、湧水が見える水路と水辺の確保が必要です。

隣接地を含めたこの湿地帯は、特別貴重な環境として残していくべき和光の宝です。隣接地の取得と湧水路工事についての要望書を白子大坂ふれあいの森の会と連名で市に提出しました。

### 5. 夏休みボランティア体験について

会では、夏のボランティア体験として4日間を指定して、和光の自然の紹介と保全活動に協力をお願いします。皆様ぜひ日程を覚えて、予定してください。

8月17日(土): 新倉ふれあいの森

8月18日(日): 富澤湧水

8月19日(月): 和光樹林公園

8月21日(水): 大坂ふれあいの森